

「武蔵野市 長期入院の実態把握のためのアンケート調査」  
結果報告書

令和4年10月

東京都武蔵野市健康福祉部障害者福祉課  
基幹相談支援センター

## 1 調査目的

精神障害者の地域移行・地域定着支援を推進するにあたり、精神科病院に1年以上入院している精神障害者の実態を把握し、地域移行に向けた課題を検討するため、調査を実施する。

## 2 対象者

令和4年3月1日時点で、医療機関に1年以上入院されている武蔵野市民

## 3 調査時期

令和4年3月

## 4 調査方法

- ・地域精神保健福祉資源分析データベース（ReMHRAD）により精神科病院に1年以上入院している武蔵野市民の数・所在する自治体を把握。
- ・把握した自治体に所在する精神科病院へ対し、調査票を送付。
- ・インターネット（LoGo フォーム）による入力または調査票の郵送により回答を依頼。

※調査票は武蔵野市地域自立支援協議会の専門部会（地域移行部会）にて作成。

## 5 回収状況

発送数	138 病院（東京都内 108 病院	東京都外 30 病院）
回答数	98 病院（東京都内 75 病院	東京都外 23 病院）
回収率	71.0%	

## 「武蔵野市 長期入院の実態把握のためのアンケート調査」結果

### 【武蔵野市民で１年以上入院されている方の状況について】

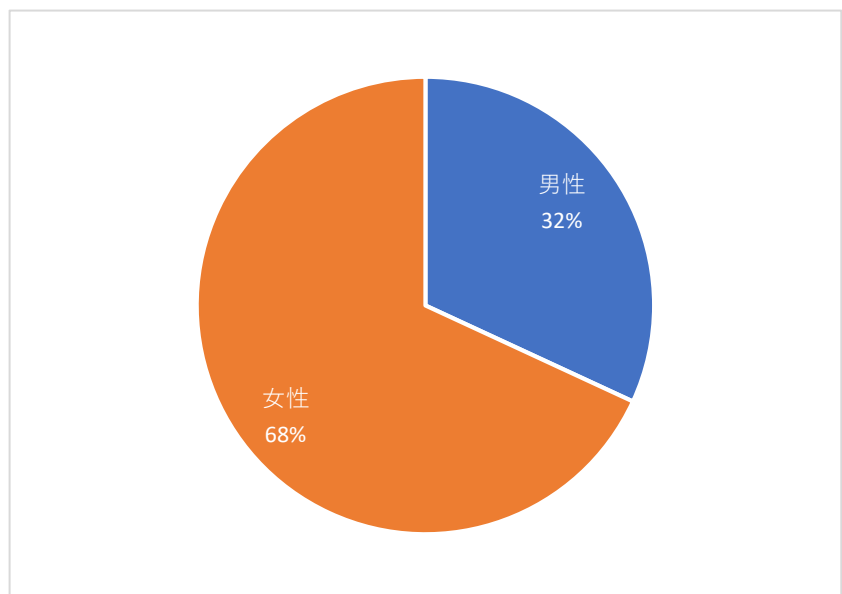
#### 1 １年以上入院されている方の人数・病院数

116 人 28 病院

#### 2 性別

(人)

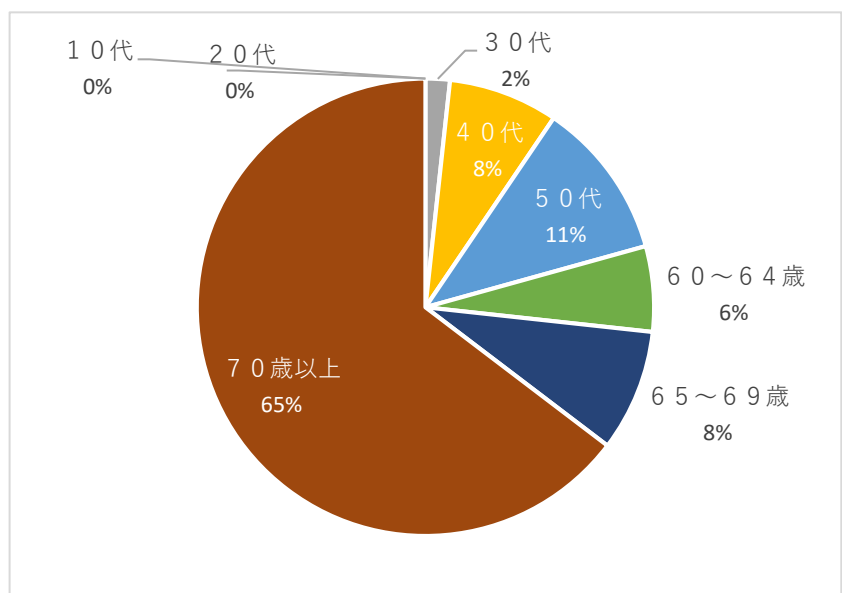
男性	37
女性	79



#### 3 年代別

(人)

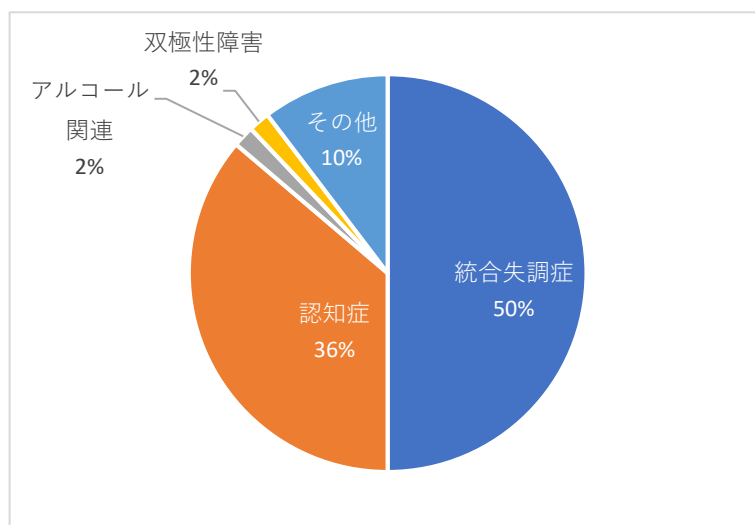
10代	0
20代	0
30代	2
40代	9
50代	13
60～64歳	7
65～69歳	10
70歳以上	75



#### 4 主な病名

(人)

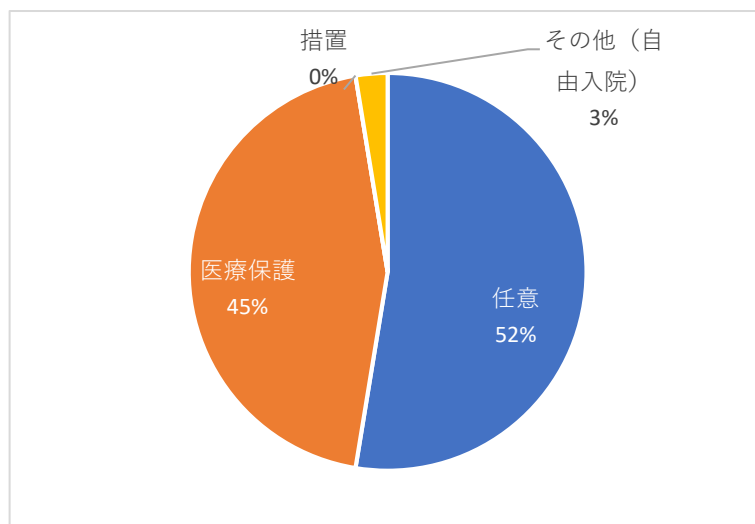
統合失調症	58
認知症	42
アルコール関連	2
双極性障害	2
その他（うつ病、自閉スペクトラム症、知的障害、身体表現性障害等）	12



#### 5 入院形態

(人)

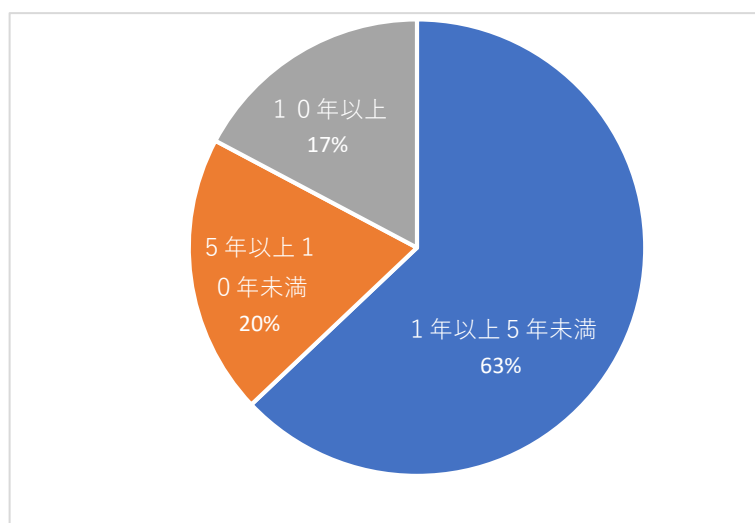
任意入院	61
医療保護入院	52
措置入院	0
その他（自由入院）	3



#### 6 入院期間

(人)

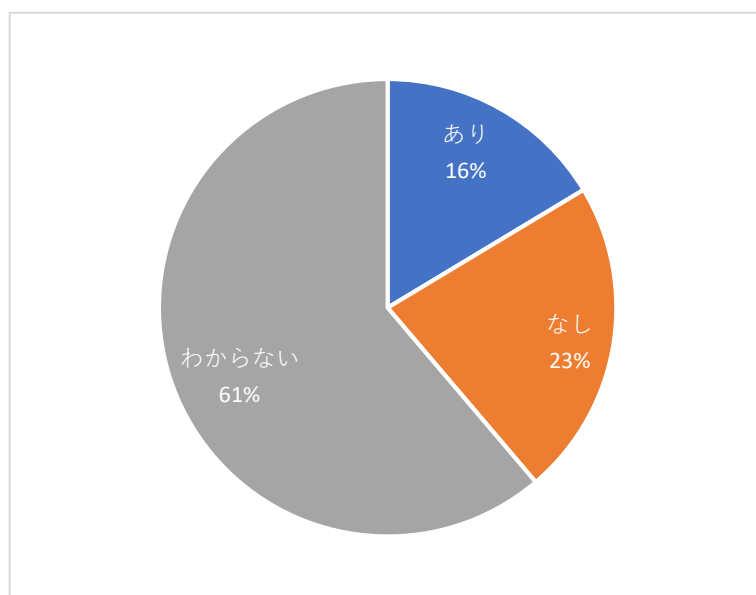
1年以上5年未満	73
5年以上10年未満	23
10年以上	20



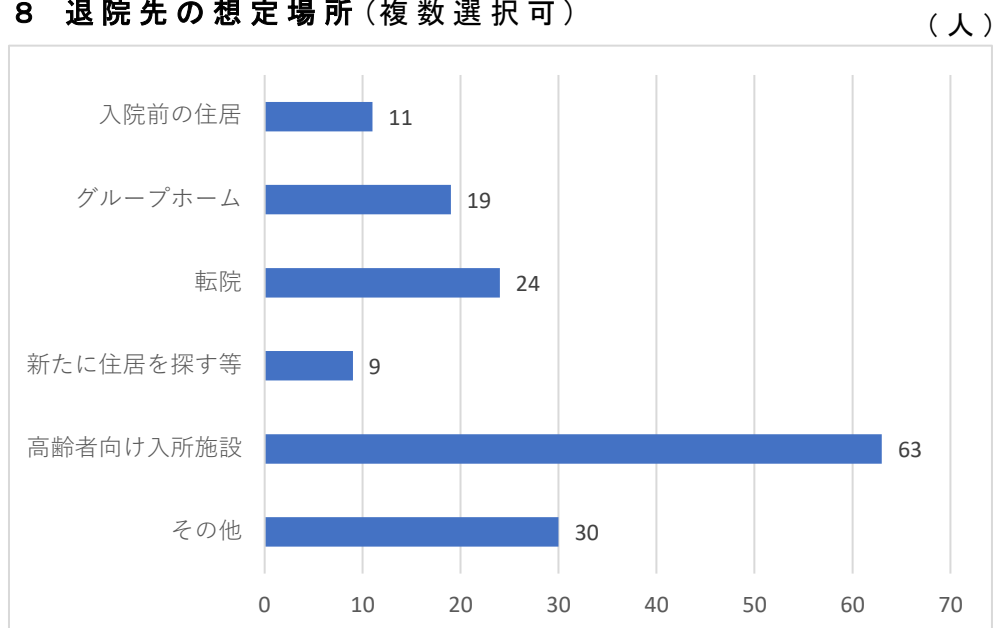
## 7 退院意欲の表出

(人)

あり	19
なし	26
わからない	71



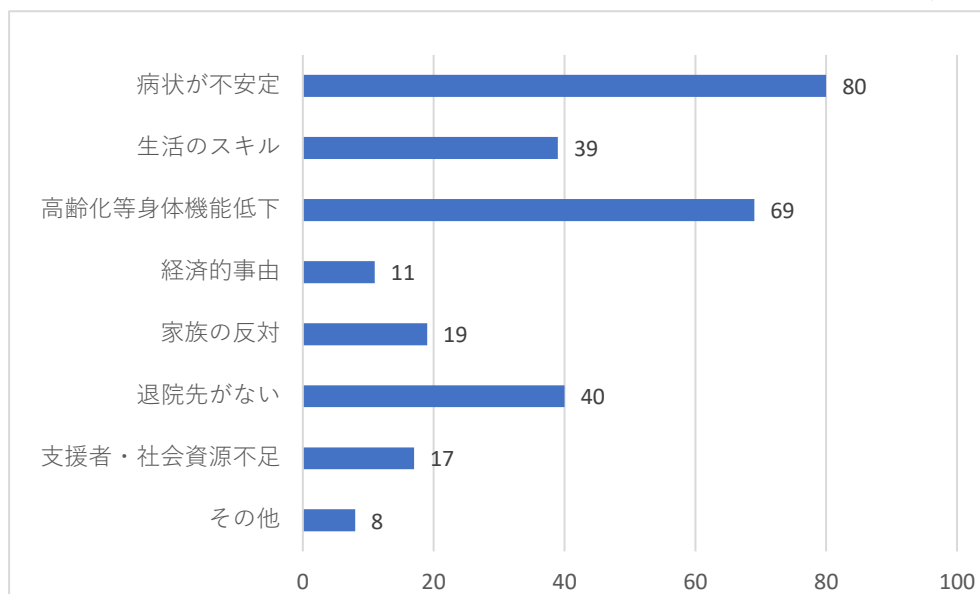
## 8 退院先の想定場所(複数選択可)



その他の内訳は、不明（18人）、未定（9人）、障害者支援・救護施設等の施設（2人）、身体・精神等両疾患を診れる病院（1人）となっている。

## 9 退院を拒む理由（複数選択可）

（人）

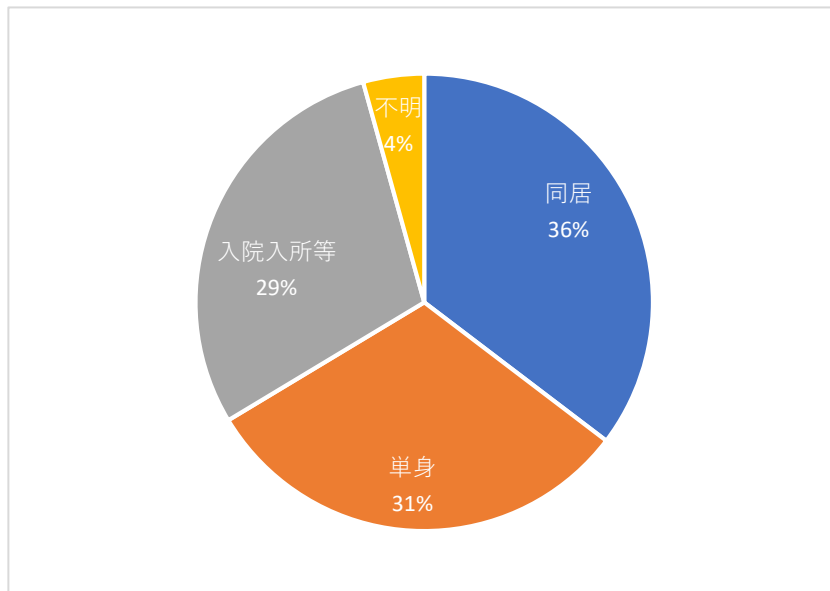


その他の内訳は、具体的な理由はない（3人）、退院先が見つからない（2人）、退院検討中（1人）、特別養護老人ホームを申込み中（1人）、社会対応力の不足（1人）となっている。

## 10 入院前の居住状況

（人）

同居	41
単身	36
入院入所等	34
不明	5



## 11 特記事項（抜粋）

- ・身体症状が強いため、退院検討が困難。知的障害や糖尿病等身体疾患を重複。身体疾患を合併しているため、入院期間が長くなっている。
- ・長期的に隔離室を利用。妄想が強く、退院は困難。
- ・地域移行支援を利用し、グループホームへの入居を勧めている。
- ・今後、地域移行支援の利用を検討している。

### 【地域移行についてのご意見】

- ・地域移行支援事業の利用は、入院して1年経過していないと難しいと自治体に言われることがあり、利用の拡大を検討してほしい。
- ・退院に向けた準備で、外出（見学）時等地域の支援者が一緒に動いてもらえるとより早い退院につながるのではと感じている。
- ・高齢者の患者層が多いため、地域での退院先は特別養護老人ホームになることが多い。受け入れ幅が広がると、退院できる方がもっと増えるのではと感じている。
- ・グループホームの数が少ないと感じている。
- ・在宅での介護が困難な方に困っている。定期的にでも入所可能な施設や滞在型のグループホームが利用できるといい。
- ・グループホームの試泊がスムーズに進むような支援体制の強化が課題。
- ・地域の資源が増えれば退院先の選択肢が増えるのではと考える。
- ・退院に向けての助言等相談できるような窓口等を活用できるといい。
- ・今後ピアサポーターとの協働を考え、企画会議等を始めている。